



井上さちこ通信

平成 22(2010)年3月議会

♡一般質問傍聴御案内

3月4日(金) 10時 以降 市役所 議会棟です。

1 廿日市市でも事業仕分けの実施を

全国類似団体 35 都市の中で市民 1 人あたりの借金額が一番最大なのが、廿日市市である。

市長は9月議会で、855 億円もの巨額の借金の責任は感じているし全力で返して参りたいと答弁された。

財政難の折、繰り返し市の機関（市民センター〔公民館〕、大野自然観察の森など）や市の関係団体（（財）文化スポーツ振興財団、社会福祉協議会および各地域社会福祉協議会事務所、シルバー人材センター）に、市の退職者を再雇用せず、一般市民を雇用すべきだと

ただしたが、市長は公務員の高齢者雇用対策として必要だとの認識を示している。

また同じ9月議会で実質 3.22%の賃上げとなる、職員の勤務時間短縮の条例も通した。市長は市職員の利益を守るのか、市民生活を守るのか。

国に続いて、大阪府も議員を入れた「事業仕分け」をスタートさせる。

廿日市市もこの際、議員も交え、無駄の見直しを行いながら「事業仕分け」を実施し財政再建の第一歩とすべきだと思うが、市長の考えを聞く。

2 廿日市市でも不正経理調査の実施を

報道によると、昨年愛知県など 12 道府県が会計検査院から不正経理を指摘された。今年度の調査によると広島県を含む 26 府県と 2 政令指定都市での調査で全自治体から計 20 数億円の不正経理が見つかった。

千葉県や宮崎県の知事がテレビで県民に謝る姿はいまや地方自治の実態をさらしている。不正経理の手法は

- ①「預け」
 - ②「一括払い」
 - ③「差し替え」
 - ④「翌年度納入」
 - ⑤「前年度納入」
 - ⑥「不適切な貸金の支払い」
 - ⑦「不適切な旅費の支払い」
- の7つに分類し調査するものだ。

廿日市市は大丈夫かという市民の声もあるが、信頼を得るためにも、不正経理調査の実施をする考えはないか。

3 **速やかに回答をお願いいたしますと
添え書きがあった大野町商工会の要望書に
回答しないことについて**

平成20年3月に、大野町商工会の要望書「合併建設計画を中心としたこれからの大野地域の活性化について」が提出されたが、この要望書に回答がないままだ。9月議会でその点をただしたが、地域振興部長は「特に期間を求められていないから返答しなかった。」と答弁した。
市長は部下のこのような不誠実な対応をこのまま放っておくのか。

4 **宮島口の山側の団地の浄化槽を
公共下水道への繋ぎこむ場合の、
市民の負担額について**

平成21年3月議会で、宮島口の上側の団地の浄化槽を廿日市地域の計画図に入れて公共下水道へ繋ぎこみがされる計画が答弁で明らかにされた。
その場合、その団地の1世帯あたりの負担は、現在支払っている浄化槽管理費の2倍になるという話もあるが、本当か。

**「市民クラブ」で
頑張っています。
～井上さちこのお約束～**

- ◎「税金を大切に使う」
- ◎「弱者の視点を大切にする」
- ◎「情報の公開、透明性を図る」



問い合わせ先 井上さちこ応援団 廿日市市福面3-14-14

メール luckey@pink.megaegg.ne.jp tel・fax 0829・56・1668

* **井上さちこ**は、「細見谷溪畔林幹線道路建設」に反対しています。

* **井上さちこ**は、「地域の郵便局を守りたい」と思っています。





井上さちこ通信

平成 22(2011)年6月議会

♡傍聴御案内

6月16日(木)13時 市役所議会棟です

1 市長、副市長、議員の期末手当の役職加算について

- (1) 一般職の職員の措置に合わせ市長、副市長等の常勤の特別職及び非常勤の議員にも役職加算がされているが、加算する根拠を示してほしい。
- (2) 市長は公約で経常収支比率を90%まで下げると言い切った。目標にはるか及ばない現状だが、役職加算を廃止し、自らが襟を正す方向を示すべきでは。

解説 ボーナス時期に2割増しの手当てを支給しています。

1990年に、国家公務員より地方公務員の給与が低すぎたので、地方公務員のボーナス支給時に、2割増しの加算手当てをつけました。このとき、一般職員だけでなく、特別職である市長・副市長・教育長・議員にも加算手当てをつけました。

この手当ては、特別職には必要ないとの論議が、広がっています。

市長に、加算を廃止する考えはないかを、問います。

2 大野支所及び跡地利用について

大野支所検討委員会では、支所は現在の場所という意見と筏津へ移転という意見がある。また支所と商工会の合築案や、支所と商工会を合築し、「道の駅」を併設する案もある。このように大野インターの出入り口という利便性を活かし、この際地域活性化に結び付けようとする機運も盛り上がり、更には東日本大震災の教訓から、災害時に備えた防災機能を備えた公共施設としたいなど、議論が活発化している。特筆すべきは大野商工会青年部がたたき台を作った「道の駅」構想だが、市長の基本的な考えを示す時期に来ていると考えるがどうか。

解説 首長のリーダーシップとはどのようなものかを問います。

3 下平良二丁目・木材港の埋めて計画について

- (1) 平成16年度に国の同意を得、平成24年度末の事業完了を目指すとしているが、進捗状況を問う。

(2) 周辺海面についても今後埋め立ての計画があるのかを問う。

解説 大きな借金をして埋め立てをしています。埋め立て後に商業施設に入ってくれる商業者がいるのかどうか、心配しています。わたしは、地元の商店街の皆さんを中心に、おいしいものビル、役に立つ雑貨ビル、若い人たちの起業ビルなど、趣向を凝らした アイデアを練り、シビックコアに連なる「若々しく元気な廿日市」にふさわしい、「場」にしたいと考えています。

4 団地の浄化槽の引き取り条件について

- (1) 下水道会計の赤字が財政を圧迫している。地方自治体財政健全化法では、下水道会計も連結して赤字比率が出されるため、下水道は今後ますます自治体財政を圧迫していくと予想される。そのような中、市財政の健全化と、市民負担の軽減という相反する難問に対して、市はどのような考えをもって進めていくのかを問う。
- (2) 大野地域青葉台団地の浄化槽の引き取りが討されているが、市は市民にどのような条件をつけて引取るのか、方針を問う。

解説 団地の皆さんの関心が高い質問です。

5 東日本大震災を受けて防災計画の見直しを

風水害と地震など災害種別に対応した避難所の設定の見直し、災害協定事業者を増やすこと、避難所の備蓄品の充実、防災計画及び避難所での女性の視点の重用、災害弱者といわれる方々の視点の取り入れなど、防災計画の見直しをするべきだが、市の考えを聞く。

解説 いざというときのための質問をします。



「市民クラブ」で頑張っています。

～井上さちこのお約束～

- ◎ 「税金を大切に使う」
- ◎ 「弱者の視点を大切にする」
- ◎ 「情報の公開、透明性を図る」

問い合わせ先 井上さちこ応援団 廿日市市福面 3-14-14
メ-ル luckey@pink..megaegg.ne.jp
tel・fax 0829・56・1668

